

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名	デッサン（Design）		
ナンバリングコード	P11102	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 基礎レベル 情報デザイン基礎
単位数	1	配当学年 / 開講期	2 年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:メディアデザインコース コース選択必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、こども・情報教育コース ※入学年度及び所属学科コースで異なる場合がありますので、学生便覧で必ず確認してください。		
授業コード	P110201	クラス名	-
担当教員名	足立 元		
履修上の注意、 履修条件	毎回の授業を大切にしてください。実技を伴うこの授業では1課題毎に評価(採点)していますので、一度欠席をしただけでも最終的な評価は不利となります。欠席しないようにしてください。毎時間、演習を通じて課題に取り組みます。基本的には個人単位の制作演習を行いますので、各自が課題制作に真剣に取り組むことを期待します。		
教科書	資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	野見山暁治「さあ絵を描こう」河出書房新社 1979、デイビッド・ホックにー&マーティン・ゲイフォード「絵画の歴史」青幻社 2017		
関連科目	造形、広告デザイン、コンピュータグラフィックス基礎、コンピュータグラフィックス応用、3D CAD基礎、3D CAD応用		

○基本情報		
授業の目的	この科目の目的は、情報メディアの特性を生かしたより良い視覚表現を求めデジタルコンテンツの創造力を高めるために必要不可欠な、造形力および造形感覚の基礎となる表現力を養うことにあります。鉛筆による描写の訓練を行い、観察と描写、遠近法の理解と表現などを通して、私たちの周りにある物を視覚的に捉え表現することを学びます。物の持っている表情を観察し光と陰影、質感を表現することや、空間と立体の表現について学びます。また、想像による描写やデフォルメのトレーニングを通して表現の深まりを求めます。	
授業の概要	次の4点を中心に演習形式で学習します。 1. 対象の形態的な構造を把握し、平面上に表現される立体として追求する学習をします。 2. 対象の固有色や陰影に留意して、明暗の調子をつくりながら表現する学習をします。 3. 複数の物体の関係を有機的に把握し、空間を表現する学習をします。 4. 自らの考えをビジュアルに構想する訓練を通して、想像したイメージを豊かに表現する学習をします。	
授業の運営方法	(1)授業の形式	「演習等形式」
	(2)複数担当の場合の方式	「該当しない」
	(3)アクティブ・ラーニング	「該当なし」
地域志向科目	該当しない	
実務経験のある教員による授業科目	該当しない	

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	表現の対象を観察する態度を養う。		5点	
【知識・理解】	対象の形態的な構造を把握し、立体や空間として表現できる。		5点	
【技能・表現・コミュニケーション】	対象の固有色や陰影に留意して明暗の調子をつくりながら表現できる。		40点	
【思考・判断・創造】	複数の物体の関係を有機的に把握しながら表現できる。自らの考えをビジュアルに表現する。		40点	10点

○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)	
○成績評価について:対象の形態的な構造の把握、明暗の調子、複数の物体の関係を有機的に把握した空間表現の観点から評価します。また考えをビジュアルに構想することと、想像したイメージの豊かな表現を重視します。以下の点にも注意してください。 1. 無駄話をせず、集中して制作に取り組むこと。 2. 与えられた材料を無駄にせず、有効に使うこと。 3. 使った道具や場所を清掃すること。 ○学習成果・課題のフィードバックについて:課題の目的や表現方法について授業中に説明し、制作中は課題のポイントを個別に指導します。完成した作品は教室に展示し講評します。	

○その他
授業内容についての相談は随時受け付けます。また教室は授業期間中の平日9時～18時までは開放しますので、予習や復習に使用してください。

2022年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画		科 目 名 担当教員	デッサン（Design） 足立 元	授業コード	P110201
学修内容					
1. オリエンテーション					
授業を通して何のためにどのような力を付けようとするのかについて解説します。					
予習	図書館等で参考図書を読み自分の考えをまとめてください。				約2時間
復習	次週からの課題制作に備え、画材の準備と確認を行ってください。				約2時間
2. 形と明暗					
視点の違いによる形の見え方の変化、明暗・陰影について学習します。陰影の表現方法などについての練習課題を行います。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「グラデーション、手のデッサン」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
3. 描画の要素					
線の性質と感情、質感、量感、動勢についての学習をします。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「人物クロッキー」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
4. 石膏デッサン					
対象物の形態や明暗、構造などを石膏像を描くことを通して学びます。これまで学習した線や面の表現、陰影、量感などを実践的に用いる訓練を行います。完成し提出された課題を掲示し講評します。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「石膏デッサン(基本形体)」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
5. 静物デッサン1					
単体のモチーフを詳細に観察して描写する訓練を積みます。また立体を把握し、表現するための観察力を養います。完成し提出された課題を掲示し講評します。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「静物デッサン1」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
6. 静物デッサン2					
単体のモチーフを詳細に観察して描写する訓練を積みます。硬い、柔らかい等の質感を把握し、表現するための観察力を養います。完成し提出された課題を掲示し講評します。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「静物デッサン2」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
7. 透視図法1					
透視図法の歴史と現代の表現を学び、1点透視図法と2点透視図法の基本練習を行います。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「透視図法1」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間
8. 透視図法2					
1点透視図法と2点透視図法の作画練習を行います。室内と建築物外観の設計図をもとに透視画を作画します。完成し提出された課題を掲示し講評します。					
予習	配布資料を参照し本時の課題「透視図法2」について確認してください。				約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。				約2時間

○授業計画	科 目 名	デッサン（Design）	授業コード	P110201
	担当教員	足立 元		
学修内容				
9. 透視図法3				
1点透視図法と2点透視図法の作画練習を行います。第8週に引き続き、室内と建築物外観の設計図をもとに透視画を作画します。完成し提出された課題を掲示し講評します。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「透視図法3」について確認してください。			約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。			約2時間
10. 建築物のデッサン1				
前回までに学習した透視図法を応用し、学内の建築物をデッサンします。これにより、透視図法の理解を深め、表現力を養います。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「建築物のデッサン」について確認してください。			約2時間
復習	3回連続の課題のため、必要に応じて次週までに加筆してください。			約2時間
11. 建築物のデッサン2				
第10週に引き続き学内の建築物をデッサンします。透視図法の理解を深め、表現力を養います。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「建築物のデッサン」について確認してください。			約2時間
復習	3回連続の課題のため、必要に応じて次週までに加筆してください。			約2時間
12. 建築物のデッサン3				
第11週に引き続き学内の建築物をデッサンします。透視図法の理解を深め、表現力を養います。完成し提出された課題を掲示し講評します。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「建築物のデッサン」について確認してください。			約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。			約2時間
13. 想定デッサン1				
これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行います。まず基本形態を空間に配置する訓練を行います。完成し提出された課題を掲示し講評します。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「想定デッサン1」について確認してください。			約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。			約2時間
14. 想定デッサン2				
これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行います。テーマを設定し、そこから想像する世界を表現します。完成し提出された課題を掲示し講評します。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「想定デッサン2」について確認してください。			約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は次週までに完成させてください。			約2時間
15. 想定デッサン3				
これまで培った描写力を生かして、自らの考えをビジュアルに構想して表現する訓練を行います。自らの内面を見つめ、自分の想像したイメージを豊かに表現します。完成し提出された課題を掲示し講評します。				
予習	配布資料を参照し本時の課題「想定デッサン3」について確認してください。			約2時間
復習	未完成の場合や指導を受けた場合は期限までに完成させてください。			約2時間
16.				
試験は実施しません。授業中の課題によって成績を評価します。				
予習				
復習				